



コープリハビリテーション病院・老健あかねだより

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。

リハビリが関連領域の専門医に助けられるとき 〜歯科医 山崎先生との病棟回診紹介〜

コープリハビリテーション病院 院長 鍛本真一郎

【リハ医】様々な力をまとめるのが

リハビリ病棟には脳卒中、整形疾患、外科手術後などの患者様が発症から1、2週間足らずで転院してこられます。そこに「現役」の整形、救急・外科の専門医が定期的に来てくれている当院は大変恵まれています。なぜなら手術とリハビリの微妙な兼ね合いに現役ならではのアドバイスをし、それがリハビ

リのヒントになるからです。ここで「現役」というのがミソです。

【歯科のモグモグ・リハビリのゴックン】

歯科についても現役医師からアドバイスをもらえれば食べるリハビリが進むはず。依頼したのは当院外来で診療している山崎先生です。内容を写真1〜3

【現役の救急・外科専門医の回診見学】

山崎先生は救急・外科専門医の立場で私たちを助けている倉敷中央病院救急科の田村先生の回診を見学されました。田村先生は超急性期からリハビリ転院した患者様が「生活」に戻る過程を当院で調べる一方、退院し生活を維持している人にどんな介入をしたらもっと良く「暮らせる」かを研究中です。その田村先生が創傷の外科的治療など私たちのリハビリの成果に非常に貢献してくれています。

【リハ医メッセージ】

生命の危機に瀕するほど重症や高度な治療が必要な患者様には個別の専門医療が必要です。しかし危機を脱したあと生活の不自由が残るかもしれないなら、それはリハビリの出番です。リハ医の腕の見せ所は適宜、相談できるリハ以外の専門医人脈をどれだけもっているかだなと近頃ますます感じます。その人脈に歯科の山崎先生が加わってくださることは患者様が満足できる生活に戻れることの助けになります。



写真1. 口腔機能を低下させる一因「舌苔(ペロの垢)」がある患者様。嚥下はまだ途中の中でどついたら予防できるか歯科とリハビリ双方の経験からアイデアを出し合います。中央が山崎美佳先生、右は歯科衛生士の政木佳子さん。



写真2. 入れ歯で噛むときの痛みを病棟でも見逃さなければ、そのことを不自由な患者様に代わって歯科にフィードバックできると思っています。



写真4. 倉敷中央病院救急科の田村暢一朗先生が救急・外科専門医として私たちに関わってくれている様子を見学する山崎先生。



写真3. 入れ歯を作るとき残歯の扱いを歯科から直接説明されると、完成した入れ歯の善し悪しをより身近に観察できます。

リハビリ看護に寄せる関心 〜コロナ禍で分散した 看護就職説明会〜

今年もコロナ禍の中、看護学生さん達の就職活動が始まりました。昨年同様に病院見学・インターンシップへの集団参加は提供できず、学校自体も病院実習を中止しているというハンデキャップの中、個人単位での来訪または遠方からのWEB面談を行いました。今回4月28日に二人の参加があった就職説明会の様子を紹介します。こちらからは、医療の手法など基本は押さえた上で人の内面も含めた確にみられる看護に最大の価値を置いていること、そして「ホウレンソウ」なんかより自分で考えるクセを身につけさせる教育姿勢をお伝えしました。

お二人からは「指示待ち嫌い、ここだったら自分で考えて行動できるように育ててくれそう」とか「人を大事にする、はお題目でなさそう」と共鳴してもらえたようです。お二人が就職先を選ぶ際に当院が選択肢の一つになればと思います。

回復期リハビリテーション病棟 師長 山田小百合



当日のお二人と筆者。当院の価値観に「共感」してくれました。

入院や入所に際して、部屋代はいただいていません。

移転4年目を迎えて

自宅での生活の維持を 目指した通所リハ

現在の地に移転する際に、ふれあい診療所通所リハビリとあかね通所リハビリが統合されて現在のあかね通所リハビリが出来ました。移転当初は模索しながらの発進で、様々な事を試しておりました。現在は、リハビリ中心の通所リハビリの位置付けを確立したことでサービスの目的が定まってきました。担当リハビリスタッフによる個別の体操等で1日の多くの時間をリハビリに関わっております。今後も自宅生活を維持出来る様に目的をしっかりと関わりを発展させていきたいと思っております。

老健あかね
通所リハビリテーション
責任者 山本 武範



筆者 山本武範

安心して過ごしていた だけの病棟を目指して

この1年間はコロナウイルスの影響で、患者様ご家族と面会ができなくなり、病棟でも予定していたレクリエーションもなくなりました。そのような状況のため患者様の不安も有りましたが、窓ごし面会やWEB面会などでご家族と対面出来ることと安心して過ごされています。また、眺めがよくどこからでも外の様子を見ることが出来る建物のおかげで自由な出入りができなくなった患者様も外の様子を感じることが出来る様子が伺えます。まだまだこの状況は続くことと思われませんが、少しでも患者様が安心して過ごしていけるよう努めていきたいと思っております。

コープリハビリテーション病院
3階病棟
看護師 岡村 志穂



筆者 岡村志穂

新任職責者紹介



コープリハビリテーション病院
5階病棟 看護師副主任
石原 浩子

この度、5階病棟の看護副主任をさせていただくことになった。石原浩子と申します。私は卒後からずっと今まで看護師として働いてきました。が、仕事と家庭をなんとか両立させながら、気がついたら十年が経っていました。こちらには中途採用で入社し、療養病棟で勤め、今年で6年目になります。療養病棟では、寝たきりの患者様も多く、急変することもあるため常に緊張感があります。患者様との会話に



老健あかね
介護福祉士 副主任
西村 和彦

この度、老健あかねの介護副主任になりました。西村です。思い返すと、私が介護職に従事する様になったのは今から約12年前の事です。当時はあかねでパート勤務をしながら、通信教育2年過程を終了し、国家試験に合格するという目標を立て日々努力していました。晴れて国家試験に合格し、

癒やされて笑顔ももらっています。いつも忙しいですが病棟スタッフの方々と協力しながら、やりがいを感じながら勤めています。

この度のお話を頂いた際は正直決断をするのにも悩みました。しかし、これまで病棟で任された役割などから学ぶこともたくさんあり、自分にとってプラスになるよう、日々努めています。これからもやるべきことをしっかりとおこない、知識や看護の幅をもっと広げていけるように、努力していきたいと思っております。

未熟ではありますが、少しでも役に立てるよう、頑張っていこうと思っておりますので、これからよろしくお願ひ致します。

その後病棟に異動になりましたが、3年前から再びあかねで勤務させていただいています。

蛇足になりますが、先日目に留まった楽天グループ、三木谷会長のインタビュー記事の中で「日本人はリスクばかりを考え、挑戦する事を恐れる」という事が書かれていました。物事を深く考えすぎ、ネガティブ思考の私にとってとても心に響く内容でした。

副主任就任は私にとって大きな挑戦になると思いますが、微力ながら一杯頑張りますので、宜しくお願ひ致します。

○お問い合わせ先
倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
老人保健施設 老健あかね
TEL 086-444-3212 (代表)
受付時間 平日9:00~16:30
土曜日9:00~12:00
(日祝・年末年始を除く)

〒712-8057
倉敷市水島東千鳥町 1-60
ホームページ: <http://coopreha.jp/>
メールアドレス: info@coopreha.jp
広報委員会
発行責任者 笹舘 勝人

診療表					老健あかね [086-446-6541]	
コープリハビリテーション病院 外来受付時間 8:30~12:00 [086-444-3212]					訪問リハビリ	通所リハビリ
外来	装具 外来	歯科	短時間 通所 リハビリ	短期集中 健幸アプ 教室		
午前 9:00~ 12:30	14:30~ 15:00	午後	9:00~ 16:50	9:30~ 11:00	9:00~ 16:00	
月			○		○	○
火	渡辺 (予約制)	山崎 (予約制)	○		○	○
水	飯塚		○		○	○
木	太田	山崎 (予約制)	○		○	○
金	飯塚		○		○	○
土						○

医療福祉相談・連携室		
相談 受付時間	平日	9:00~12:00 13:30~16:30
	土曜日	9:00~12:00
	日・祝日	休み

新入職員 紹介

コープリハビリテーション病院
作業療法士
新池かおり

コープリハビリテーション病院
理学療法士
宗本 萌花

コープリハビリテーション病院
理学療法士
中平 雅也

老健あかねは、通所リハビリ・訪問リハビリ・短時間通所リハビリとの連携をしています。